

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3929176号

(P3929176)

(45) 発行日 平成19年6月13日(2007.6.13)

(24) 登録日 平成19年3月16日(2007.3.16)

(51) Int. Cl.

F I

G09F 7/18 (2006.01)

G09F 7/18 M

G09F 13/04 (2006.01)

G09F 13/04 Z

請求項の数 2 (全 8 頁)

(21) 出願番号	特願平10-198956	(73) 特許権者	000005821
(22) 出願日	平成10年7月14日(1998.7.14)		松下電器産業株式会社
(65) 公開番号	特開2000-29394(P2000-29394A)		大阪府門真市大字門真1006番地
(43) 公開日	平成12年1月28日(2000.1.28)	(74) 代理人	100083954
審査請求日	平成16年7月16日(2004.7.16)		弁理士 青木 輝夫
		(72) 発明者	渡邊 英夫
			神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 松下通信工業株式会社内
		審査官	櫻井 茂樹
		(56) 参考文献	特開平08-125759(JP,A)
			実開昭61-088177(JP,U)
			実開昭49-024189(JP,U)
			実開昭63-41812(JP,U)
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 状態表示盤

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

壁面に取付け可能な下ケースと、上記下ケースの開口部に嵌合された上ケースと、上記上ケースの前面に着脱自在に取付けられ、かつ上記上ケースに係止自在な係止手段を有すると共に、前面に複数の記名欄が表示された記名カードと、上記記名カードを覆うように上ケースの前面に着脱自在に取付けられた透明な記名カードカバーと、上記下ケース内に収容され、かつ記名カードの記名欄毎に上ケースに開口された表示孔の後方に発光部が配置された表示手段とを具備したことを特徴とする状態表示盤。

【請求項2】

係止手段を記名カードの一侧縁より突設された耳片の少なくとも一方にフックを設けることにより形成してなる請求項1に記載の状態表示盤。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は不在者などを表示する状態表示盤に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来この種の状態表示盤は図9ないし図11に示すように、壁面aにビスなどの固着具bで固着された下ケースcと、この下ケースcの開口部を覆うように嵌合された上ケースdよりなり、上ケースdの前面には凹入部eが形成されていて、この凹入部eに、記名欄f

10

20

が印刷された記名カード g が収容されている。

【 0 0 0 3 】

また記名カード g の前面には、記名カード g が脱落するのを防止するため、透明な薄板よりなる記名カードカバー h が設けられており、この記名カードカバー h の一端側には、上記上ケース d 側に形成された一対のスリット i に嵌挿自在な耳片 j が突設され、他端側には、上ケース d に吸着する磁石体 k が設けられていて、これら耳片 j と磁石体 k によって上ケース d に着脱自在に取付けられている。

【 0 0 0 4 】

一方上ケース d には、各記名欄 f 毎に表示孔 m が縦方向に開口されていて、これら表示孔 m の裏面には図示しない L E D が各表示孔 m 毎に設けられており、これら L E D の点灯により次のように不在者を表示するようになっている。

10

【 0 0 0 5 】

すなわち、上記状態表示盤は、予め記名カード g の記名欄 f に在職者の氏名を記入し、職場の壁面 a などに取付けて使用するもので、不在者に電話がかかってくる、取り次ぎ者が電話をかけてきた者のメッセージを録音すると、不在者の記名欄 f に該当する L E D が点灯され、不在者がその録音メッセージを確認するまでは、L E D は消灯されないため、不在者が帰社した際、不在者に確実に録音メッセージを伝達することができるようになっている。

【 0 0 0 6 】

【 発明が解決しようとする課題 】

20

しかし上記従来の状態表示盤では、人事異動等によって記名カード g に名前を追加したり、削除する場合、まず記名カードカバー h を外して記名カード g を取外し、名前の追加、削除を行った後、再び記名カード g を取付ける際、記名カード g を手で押えないと、記名カード g が自重により脱落してしまうため、記名カード g を手で押えながら記名カードカバー h を上ケース d に取付けなければならず、操作が面倒である上、記名カードカバー h を取付ける際、記名カード g が下方へずれたり、脱落することが多いため、操作性が大変悪いなどの不具合がある。

【 0 0 0 7 】

この発明はかかる従来の不具合を改善するためになされたもので、記名カード及び記名カードカバーを脱着する際、記名カードが自重により脱落することのない状態表示盤を提供して、操作性の改善を図ることを目的とするものである。

30

【 0 0 0 8 】

【 課題を解決するための手段 】

上記目的を達成するため請求項 1 記載の発明は、壁面に取付け可能な下ケースと、上記下ケースの開口部に嵌合された上ケースと、上記上ケースの前面に着脱自在に取付けられ、かつ上記上ケースに係止自在な係止手段を有すると共に、前面に複数の記名欄が表示された記名カードと、上記記名カードを覆うように上ケースの前面に着脱自在に取付けられた透明な記名カードカバーと、上記下ケース内に収容され、かつ記名カードの記名欄毎に上ケースに開口された表示孔の後方に発光部が配置された表示手段とより構成したものである。

40

【 0 0 0 9 】

上記構成により、記名カードの記名欄に記入されている名前を変更したり、削除すべく記名カードカバーを上ケースより取外しても、記名カードが自重で脱落することがないので、記名カードや記名カードカバーの脱着作業が容易に行える。

【 0 0 1 4 】

上記目的を達成するため請求項 2 記載の発明は、請求項 1 記載の状態表示盤において、係止手段を記名カードの一側縁より突設された耳片の少なくとも一方にフックを設けることにより形成したものである。

【 0 0 1 5 】

上記構成により、係止手段が容易かつ安価に形成できるようになる。

50

## 【0016】

## 【発明の実施の形態】

以下この発明の実施の形態を図1ないし図8に示す図面を参照して詳述する。

## 【0017】

図1は状態表示盤の正面図、図2は同裏面図、図3は同断面図、図4は記名カードの正面図、図5は記名カードカバーの正面図、図6ないし図8は使用時の作用説明図である。

## 【0018】

これら図において1は、偏平な角箱状に形成された上ケースで、下ケース2の開口部2aに嵌合できるようになっている。

## 【0019】

上記上ケース1の前面には、周辺部を除く全体に凹入部1aが形成されており、この凹入部1aの縦辺の一边には上下に離間して一对のスリット1bが穿設され、他辺の近傍には、後述する記名カード3の記名欄3a毎に縦長な長孔よりなる表示孔1cが、縦方向に等間隔に穿設されている。

## 【0020】

また上記下ケース2の底面には、ビス等の固着具5により下ケース2を壁面6に取付けるための取付け孔2bが上下方向に間隔を存して突設されていると共に、下ケース2内には、上記上ケース1の各表示孔1cの後方に発光部7aが位置するように基板8に実装されたLEDよりなる表示手段7が収容されている。

## 【0021】

一方上記記名カード3は、上ケース1の凹入部1aにほぼ一杯に収容できる大きさに形成されていて、前面に複数の記名欄3aが印刷などの手段で表示されていると共に、記名カード3の一侧縁には、上ケース1に形成されたスリット1bに嵌挿できる一对の耳片3b, 3cが上下に離間して突設されて、これら耳片3b, 3cのうち、上側の耳片3bは、下方に向けてフック3dが突設されていて、この耳片3dを上ケース1の上側のスリット1bへ挿入した際、フック3dがスリット1bの下縁に係合されるようになっている。

## 【0022】

また上記記名カード3の前面を覆う記名カードカバー4は、上記記名カード3とほぼ同じ大きさの透明な薄板より形成されていて、一侧縁には、上ケース1に形成されたスリット1bに嵌挿できる一对の耳片4a, 4bが上下に離間して突設されており、他側縁側の裏面には、上ケース1の前面に吸着する帯状の磁石体8が接着などの手段で固着されている。

## 【0023】

次に上記構成された状態表示盤の作用を図6乃至図8に示す図面を参照して説明すると、状態表示盤の使用に当っては、図6に示すように下ケース2の裏側に開口した取付け孔2aに固着具5を挿入して、壁面6に下ケース2を取付け、下ケース2の開口部2aに上ケース1を嵌合して使用するもので、予め記名カード3の記名欄3aに在職者の名前を記入しておくことにより、在職者に電話がかかってきて、取り次ぎ者がメッセージを録音した場合、不在者がその録音メッセージを確認するまでは、不在者の記名欄3aに該当する表示手段7が点灯されるため、不在者に確実に録音メッセージを伝達することができる。

## 【0024】

一方人事異動などにより、記名カード3に記名された名前を追加したり、削除する場合は、まず記名カードカバー4を磁石体8側より取外し、次に記名カード3を取外す。

## 【0025】

このとき記名カード3の上側の耳片3bに設けられたフック3dが、図8に示すように上ケース1側に係止されているため、記名カードカバー4を取外しても、記名カード3が自重により脱落することがない。

## 【0026】

次に記名カード3に名前の追加や削除を行ったら、再び記名カード3を上ケース1に取付けるが、取付けるに当っては、まず記名カード3の上下耳片3b, 3cを上ケース1のス

10

20

30

40

50

リット 1 b へ挿入する。

【 0 0 2 7 】

これによって上側の耳片 3 b に設けられたフック 3 d がスリット 1 b の下縁に図 8 に示すように係合するため、取付け後、記名カード 3 より手を離しても、記名カード 3 が自重により脱落することがない。

【 0 0 2 8 】

次に記名カードカバー 4 の耳片 4 a をスリット 1 b に挿入して、記名カード 3 条に記名カードカバー 4 を重ね、磁石体 8 を上ケース 1 の前面に吸着させることにより、記名カード 3 及び記名カードカバー 4 を取付けるもので、記名カード 3 及び記名カードカバー 4 を脱着する際、記名カード 3 が自重により脱落することがないので、従来のものに比べ操作性が格段に向上する。なお上記実施の形態では、記名カード 3 の上側の耳片 3 b にフック 3 d を設けて、このフック 3 d により記名カード 3 を係止するようにしたが、上ケース 1 側に突起を、そして記名カード側にこの突起に係合する孔を設けて、上ケース 1 に記名カード 3 を係止してもよく、その他の係止手段により係止するようにしても勿論よい。

【 0 0 2 9 】

【 発明の効果 】

この発明は以上詳述したように、上ケースの前面に着脱自在な記名カードに、上ケースに係脱自在な係止手段を設けて、この係止手段により記名カードを上ケースに係止するようにしたことから、記名カードを上ケースより脱着する際、記名カードが自重により脱落したり、ずれたりすることがない。

【 0 0 3 0 】

これによって記名カードの脱着操作が容易に行えるため、従来のものに比べて操作性が格段に向上すると共に、記名カードに係止手段を設けるだけでよいから、容易かつ安価に実施することができる。

【 図面の簡単な説明 】

【 図 1 】 この発明の実施の形態になる状態表示盤の正面図

【 図 2 】 この発明の実施の形態になる状態表示盤の裏面図

【 図 3 】 この発明の実施の形態になる状態表示盤の断面図

【 図 4 】 この発明の実施の形態になる状態表示盤に使用する記名カードの正面図

【 図 5 】 この発明の実施の形態になる状態表示盤に使用する記名カードカバーの正面図

【 図 6 】 この発明の実施の形態になる状態表示盤を壁面に取付けた状態の断面図

【 図 7 】 この発明の実施の形態になる状態表示盤の上ケースより記名カード及び記名カードカバーを取外した状態の斜視図

【 図 8 】 この発明の実施の形態になる状態表示盤に設けられた記名カードの係止手段を示す説明図

【 図 9 】 従来の状態表示盤の分解斜視図

【 図 1 0 】 従来の状態表示盤に使用する記名カードの正面図

【 図 1 1 】 従来の状態表示盤を壁面に取付けた状態の断面図

【 符号の説明 】

- |           |       |
|-----------|-------|
| 1         | 上ケース  |
| 1 a       | 凹入部   |
| 1 b       | スリット  |
| 1 c       | 表示孔   |
| 2         | 下ケース  |
| 2 a       | 開口部   |
| 2 b       | 取付け孔  |
| 3         | 記名カード |
| 3 a       | 記名欄   |
| 3 b , 3 c | 耳片    |
| 3 d       | フック   |

10

20

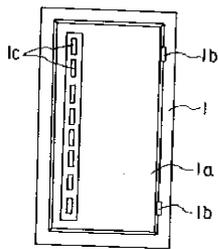
30

40

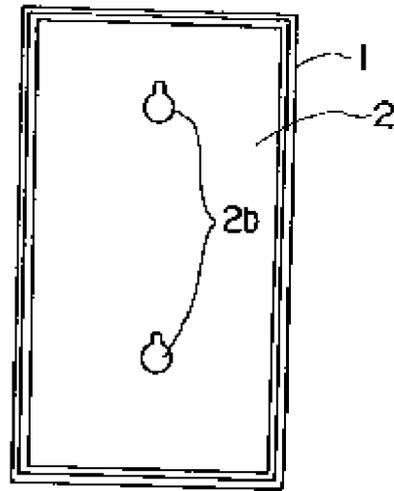
50

- 4 記名カードカバー
- 4 a , 4 b 耳片
- 5 固着具
- 6 壁面
- 7 表示手段
- 7 a 発光部
- 8 磁石体

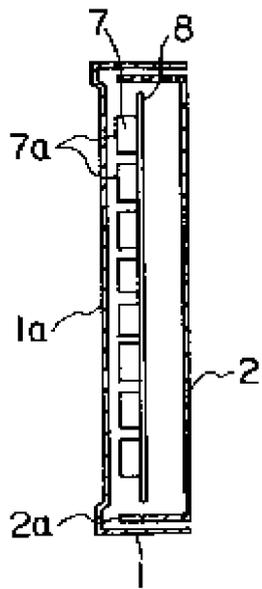
【 図 1 】



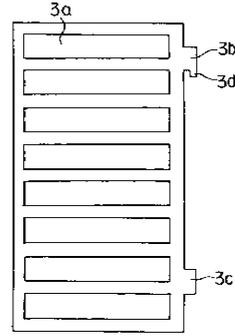
【 図 2 】



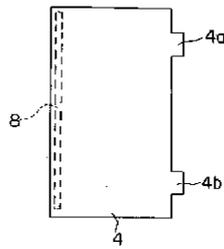
【 図 3 】



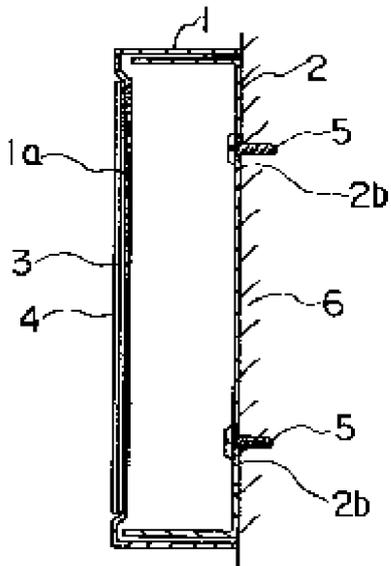
【 図 4 】



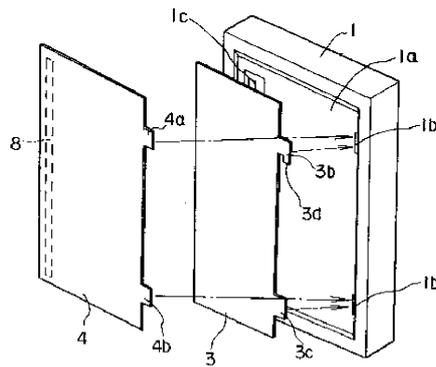
【 図 5 】



【 図 6 】

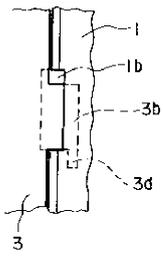


【 図 7 】

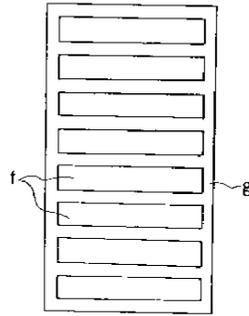


- |     |       |          |          |
|-----|-------|----------|----------|
| 1   | 上ケース  | 3 b, 3 c | 耳片       |
| 1 a | 凹入部   | 3 d      | フック      |
| 1 b | スリット  | 4        | 記名カードカバー |
| 1 c | 表示孔   | 4 a, 4 b | 耳片       |
| 2   | 下ケース  | 5        | 固着具      |
| 2 a | 開口部   | 6        | 扉面       |
| 2 b | 取付け孔  | 7        | 表示手段     |
| 3   | 記名カード | 7 a      | 発光部      |
| 3 a | 記名欄   | 8        | 磁石体      |

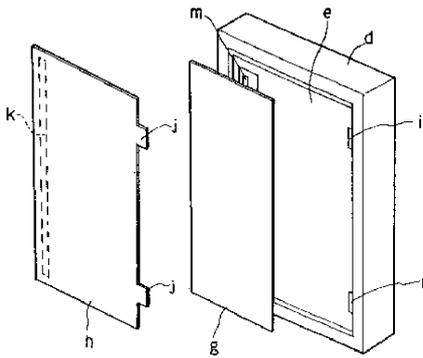
【 図 8 】



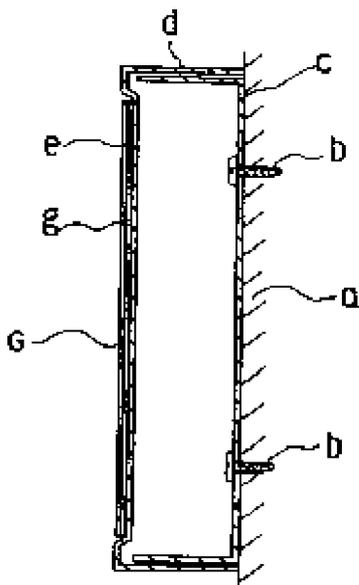
【 図 10 】



【 図 9 】



【 図 11 】



フロントページの続き

(58)調査した分野(Int.Cl. , D B名)

G09F7/00-7/22

13/00-13/46

G08B5/00-5/40

H04M3/50-3/537

H01H13/00-13/76